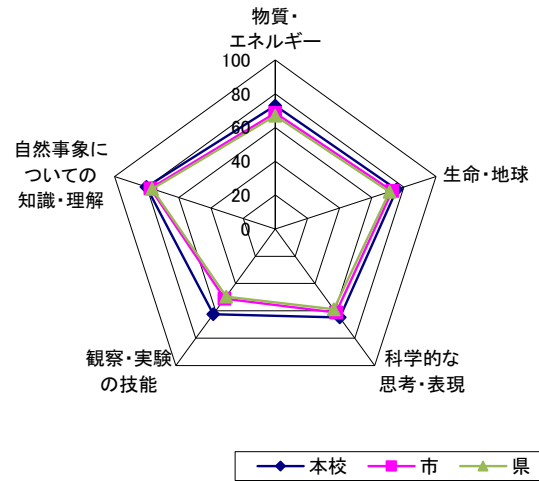


宇都宮市立瑞穂野北小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	73.0	68.6	67.0
	生命・地球	75.5	72.7	71.1
観点	科学的な思考・表現	64.8	61.2	58.8
	観察・実験の技能	62.5	51.0	49.5
	自然事象についての知識・理解	80.2	77.7	76.6



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>○県や市の結果をやや上回った。</p> <p>○「電気の働き」の内容は、県や市の正答率より10%以上高く、よくできていた。</p> <p>●「金属、水、空気と温度」では、へこんだピンポン玉が元の形にもどる理由を書く問題や結果から金属の棒の温まり方について説明する問題の正答率が低かった。温まり方について説明する問題は、その他の解答と無回答を合わせると、不正解が50.1%と半数の児童が間違えている。</p>	<p>・説明するときには、条件を1つ1つ確認し、それらをきちんと入れて説明できるよう丁寧に取り組んでいく。また、そのような場面を、授業の中でも多く取り入れていく。</p> <p>・実験を行う前に、めあてを明確にし、目的をしっかりとたせて活動できるようにしていく。また、結果から考察できることを文章で表現できるように、授業の中でも取り入れていく。</p> <p>・フォローアップシートでしっかりと復習する。</p>
生命・地球	<p>○県や市の結果をやや上回った。</p> <p>○昨年度課題であった、方位磁針に関する問題は、県や市の正答率よりも高く、よくできていた。</p> <p>●「人の体のつくりと運動」では、関節のはたらきに関する問題の正答率が低かった。筋肉の説明を選んでしまった児童が25.0%もいた。</p> <p>●「天気の様子」では、水が水蒸気になる現象について「水蒸気」と答える問題で、正答率が県や市の平均を下回り、正答率は50.0%であった。</p> <p>●「季節と生物」では、冬の頃のサクラの様子を答える問題で、正しい説明の文を選ぶことができていなかった。</p> <p>●「太陽と地面の様子」では、かげの動き方で正しいものを選ぶ問題にもかかわらず、25.0%の児童が太陽の動き方に関する説明を選択していた。</p>	<p>・今回、長い文章題を読み取ることに苦戦していたようなので、文章から状況が読み取れるように、授業や家庭学習でも類題に取り組ませるようにする。</p> <p>・曖昧に覚えてしまっている単元もあるので、プリントなどで継続的に学習内容を復習し、知識の定着を図る。</p>